

## ■文化会館(マドカホール)

				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者		
ア 子どもたちや親子を中心とした音楽や演劇、ダンスなどさまざまな形での体験機会や鑑賞機会の提供に努めます。										2事業				
新規	アートマルシェの開催	8月・1月	参加者	151名 166(2回/年)	○	○			○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。年々定着してきており、リピーターも多い。	A	A	A	
	アウトリーチ事業	11・12月	参加者	51名 (2施設)	○					就学前児童が所属する施設にアーティストを派遣し、参加体験型の演劇ワークショップを実施。子どもの豊かな発想を伸ばしていくプログラムを提供する。受入れ先の増を目指す。	A	S	—	A
イ 育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を支援し、輪を広げる事業展開に努めます。										2事業				
	育成団体「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」指導者謝礼の支出	通年	指導者数	7名		○				3つの育成団体の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、必要な支援を継続していく。	A	—	—	A
	「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」定期演奏会の開催	11/26(日), 1/8(日)	入場者数	400名 300名		○			○	育成団体の活動の発表の場を支援。団体と連携しながら今後も支援していく。	A	A	A	A
ウ 公募展である市展や地域で活動する市民や団体が参加するマドカ合唱祭の充実・発展に努めます。										2事業				
	第68回岸和田市市展／受賞作品展の開催	5月～7月 11月	入場者数 出品者数 入場者数	3,026 411名 458		○			○	美術に関する分野(洋画・染織・陶芸・書・日本画・写真・俳画)の公募展及び受賞作品のみを集めた作品展を開催。見ごたえのある作品展となった。課題として、出品者の高齢化があり、若い世代の出品を促していく。 秋は受賞作品展を開催。今回は姉妹都市韓国永登浦区からの作品と合同展示を行った。	A	A	B	B
	第30回マドカ合唱祭の開催	7/30(日)	入場者数	500名		○			○	昭和63年に合唱講座から発展した事業。合唱グループや学校等の発表の場として定着している。平成29年度は第30回の開催を記念して、特別編成の男声合唱団によるプログラムと、各団のPR展示や資料のパネル展を行った。	A	A	A	A

■文化会館(マドカホール)				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
エ 市民文化活動の場としての文化祭について、実行委員会の活動を支援し、事業の充実・発展に努めます。									3事業			
第69回岸和田市文化祭の開催	9月～11月	入場者数	19,792 名					○	昭和24年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着しており、参加団体も多く、一定の成果をあげている。	A	A	A
文化の日祝典 1部式典	11/3(金・祝)		350 名					○	文化、教育、スポーツ等の功労に対する表彰式典。	A	A	A
文化の日祝典 2部 「みんなで楽しく！クラシックコンサート」	11/3(金・祝)		300 名					○	事業協会に委託。文化の日祝典にふさわしく華やかで、若手演奏家による演奏会であった。親しみやすいクラシック音楽を中心のコンサート。昨年より来場者が増加した。	A	A	B
オ 障害者・児のための作品展の開催を支援します。									0事業			
カ 市内小中学校の音楽会や鑑賞事業、市内中学校におけるクラブ活動発表会などの子どもたちの文化事業の実施を支援します。									2事業			
芸術鑑賞事業の実施			0 校		○				例年、利用校が1団体と少なく、引き続き対象校に対し事業の周知を行った。しかし29年度はなかった。	B	B	B
チャレンジ支援事業	通年		7 件 2 校		○				コンクールに挑戦する団体(主に中学校のクラブ)に対し、本番前に舞台に立つ機会を提供することで、日頃の成果を発揮してもらおう取組。活用する団体としない団体があるため、周知に努めたい。	A	A	A
キ 庁内のさまざまな施策と連携し、文化活動を通じた子どもたちの健全育成や地域の魅力づくりに努めます。									0事業			
ク 市民や文化団体等の主体的な芸術文化活動の支援、育成に努めます。									2事業			
自泉会館指定管理者(岸和田文化事業協会)への事業委託(4件)	通年	入場者	323 名					○	指定管理者の企画・実施している各事業費を支援。企画を尊重しつつ、連携しながら支援していく。	A	A	A
共催事業の実施(6件)	通年	入場者	1,365 名					○	マドカホール・自泉会館を会場とした事業に対し、会場負担の支援。	A	A	A

■ 文化会館(マドカホール)				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者
ケ ワークショップや講座の開催など文化活動の普及に努めます。										2事業		
アートマルシェの開催(第4回子どものためのアートマルシェ)	参加者	151	名	○	○			○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。年々定着してきており、リピーターも多い。引き続き、新規参加者の拡大を目指し、魅力あるプログラムを提供していきたい。障害児が参加できるプログラムを計画したが、講師と調整できなかった。	A	A	A
アートマルシェの開催(第8回アートマルシェ)	参加者	166	名	○	○			○		A	A	A
コ 3館合同事業による市民参加や体験の機会を創出します。										1事業		
3館合同企画 きしわだ落語塾	入場者数	57	名		○			○	浪切ホール・自泉会館と合同で市民参加型の落語に取り組んだ。市民参加枠を15名募集したところ、25名の応募があり抽選を行った。10代から70代まで幅広い年齢層の参加者がプロに指導を受け、落語に取り組んだ。	A	A	A
サ 国際交流を通じた青少年の異文化交流や異文化理解に努めます。										1事業		
姉妹都市米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市 青少年派遣事業	派遣人数	14	名		○				青少年海外交流事業として、姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市へ青少年を派遣した。現地での生活体験や地域の人々との交流を通じ、国際化の一翼を担う人材の育成を図っている。本市の地域の特性をPRするプレゼンや、盆踊り、合唱を披露するなど、日本や市の魅力を発信に努めた。	A	A	A